

掲載日時：2016年4月18日付『idnes.cz』

主題：閣議で、病欠最初の3日間手当の復活改正案了承されず

1. 社会民主党は賛成の立場も、連立与党相手のANO及びキリスト教民主同盟・チェコスロバキア人民党は反対したため、本改正案は閣議了領されなかったとマルクソヴァー大臣。

2. マルクソヴァー大臣は、社会民主党にとって党綱領として労働者権利の保護は支持すべきだし、個人的にも、風邪等で休んでいる間も、色々な支払いはあるので、何故、手当が無いのか、不可思議に思うとコメント。

3. 社会民主党は、ザオラーレク外相、ニエメチェク保健相が、公務で閣議を欠席した上、さらに、ANOが強く反対したため、閣議内で、賛成乃至は、少なくとも中立的な結果に持っていくだけの支持を得られず。

4. ANO及びキリスト教民主同盟・チェコスロバキア人民党（KDU-CSL）は、「三者協議」の場での合意を要求。雇用者側も、反対の声が大きい。

5. 改正案（シュクロマフ案）は、政府の支持なしに、下院議会での審議へ。

6. 社会民主党は、本形成案が成立せずとも、5日間の「Sick Days」の義務化提案を準備している。この制度は、既に、一部の会社は自発的に導入済みで、雇用者側の反対も少ないのでは。

オリジナル記事：

[http://zpravy.idnes.cz/vlada-proplaceni-nemocenske-v-prvnich-trech-dnech-nepodporila-pbd-/domaci.aspx?c=A160418\\_121750\\_domaci\\_kop](http://zpravy.idnes.cz/vlada-proplaceni-nemocenske-v-prvnich-trech-dnech-nepodporila-pbd-/domaci.aspx?c=A160418_121750_domaci_kop)

(了)